

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 44 号	氏名	田栗 利紹
学位審査委員	主 査 河野 功 副 査 芳本 忠 副 査 中山守雄 副 査 田中 隆		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、従来知られていたポリフェノールの抗菌活性について、最小阻止濃度を(MIC)を基準としてポリフェノールの化学構造と抗菌活性の総合的な関係を明らかにしようとするものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 従来は一つのポリフェノール分子種に対して、わずかな種類の細菌類に対する活性を検討した報告が大半であったが、本研究では非常に多種類のポリフェノール分子種を用意し、多種類のグラム陽性菌、グラム陰性菌および近年話題になりながら培養が難しいレジオネラ菌に対する抗菌活性を最小阻止濃度を基準としながら測定し、最小阻止濃度を菌種とポリフェノールの化学構造との関係で考察したものである。また、抗菌活性発現の後、変化したポリフェノール分子種の構造についても検討したものであり手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、従来細菌表面の違いを理由としたグラム陰性と陽性菌で一般的に提出された結論が、陰性・陽性にかかわらず純粋に個々の細菌種による事。一方、ポリフェノールの化学構造から考えると活性発現はピロガロール基の存在が大きく寄与し、カテコール基はそれほどではないことが証明された。一方、レジオネラ菌はこれとは異なる挙動を示すことが認められ、一般性獲得に向けて今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はポリフェノールの抗菌作用に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			